

- 問1 長野県、岐阜県、富山県にまたがり、標高3000メートル級の険しい山々が連なる山脈について、通称「北アルプス」とも呼ばれる名称として正しいものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 日高山脈                      2. 木曽山脈                      3. 赤石山脈                      4. 飛騨山脈
- 
- 問2 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため                      2. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため                      3. 台地は標高が高く冷涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため                      4. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため
- 
- 問3 長野県の八ヶ岳山麓周辺では、夏から秋にかけてレタスなどの野菜の生産が非常に盛んです。静岡県などの温暖な地域では冬から春に出荷のピークを迎えるのに対し、長野県が6月から9月の夏場に圧倒的な出荷量を確保できる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 標高が高い地域の涼しい気候を利用して、平地では栽培が困難な時期に生産を行っているから                      2. ビニールハウスや温室などの施設を利用して、自然の気温よりも温度を上げて成長を早めているから                      3. 都市部までの距離が近いので、収穫後すぐに市場へ届けることができる利点を最大限に活かしているから                      4. 大規模な灌漑設備を整え、乾燥しやすい夏場でも大量の水を供給できる体制を整えているから
- 
- 問4 北陸地方などの日本海側の地域では、冬の期間に繊維物などの伝統産業が発達した歴史があります。このように、冬場の室内で行う手仕事が発達して発展した気候的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った風が吹き、冷害によって農作物の収穫が不安定だったため、工業へ転換した。                      2. 年間を通じて降水量が少なく、干害によって大規模な農業を行うことが難しかったため、水を使わない工芸品製作が盛んになった。                      3. 冬に湿った北西の季節風の影響で大量の積雪があり、屋外での農作業が困難になったため、副業として家内工業が行われた。                      4. 秋から冬にかけて大型の台風が頻繁に上陸し、農作物が大きな被害を受けるため、その対策として室内での作業が推奨された。
- 
- 問5 富山県の自然環境と産業の結びつきについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を活かした茶の栽培や施設園芸農業が発達しており、人口密度の高さを背景に小売業の年間販売額も大きい。                      2. 内陸部の盆地特有の気候を活かした果樹栽培が盛んであり、水力発電よりも高原野菜の出荷額に特色がある。                      3. 広大な越後平野を利用して日本最大の米の生産量を誇るが、冬の積雪による温田が多いため、野菜の産出額も非常に多い。                      4. 急峻な地形を流れる河川を利用して水力発電が発達し、豊富な水資源を背景に、耕地面積のほとんどを水田とする稲作が展開されている。
- 
- 問6 静岡県の太平洋沿岸部の気候特色である「冬の気温が高い」ことや「日照時間が長い」ことを生かして、この地域で古くから盛んに行われてきた産業の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 乾燥した気候に適した、小麦やライ麦の広大な農地での栽培                      2. 豊富な雪解け水を利用した、大規模な水田単作による稲作                      3. 冷涼な気候に適した、キャベツやハクサイなどの高原野菜の栽培                      4. 茶の栽培や、温暖な気候を利用したビニールハウスによる施設園芸農業
- 
- 問7 北陸地方は日本海側に位置し、冬には季節風の影響で非常に多くの降雪量が見られます。このような自然環境のもとで、江戸時代以来の伝統技術や地元の原材料を活用した産業が発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 豊富な雪解け水を工業用水として活用するため、冬の期間に限定して大規模な化学工業が行われた                      2. 冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった                      3. 冬の強い季節風をエネルギー源とした大規模な機械工業が、江戸時代から沿岸部で発達した                      4. 広大な平野部において、冬でも温暖な気候を活かした二毛作が行われ、その加工品製造が広まった
- 
- 問8 中部地方の本州中央部にそびえる飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、その圧倒的な標高の高さと険しさから、日本の地形を象徴するどのような言葉で呼ばれていますか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 日本の防波堤                      2. 日本の分水嶺                      3. 日本の屋根                      4. 日本の背骨
- 
- 問9 冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 瀬戸内の気候                      2. 北海道の気候                      3. 中央高地の気候                      4. 南西諸島の気候
- 
- 問10 日本アルプスを構成する3つの山脈のうち、長野県の北西部に位置し、岐阜県や富山県との県境にもなっている山脈の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 木曽山脈と呼ばれ、中央アルプスという通称で知られる、飛騨山脈の南側に並行する山脈である。                      2. 奥羽山脈と呼ばれ、東北地方の中央部を南北に貫く、日本で最も長い山脈である。                      3. 赤石山脈と呼ばれ、南アルプスという通称で知られる、静岡県との県境に位置する山脈である。                      4. 飛騨山脈と呼ばれ、北アルプスという通称で知られる標高3000m級の山々が連なる山域である。
- 
- 問11 5万分の1地形図「上野原」における、ある地点の状況を説明した次の文章を読み、その地点の地形と土地利用の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。「東西に延びる直線状の道路沿いに位置しており、その道路のすぐ北側には等高線が非常に密集している場所がある。また、道路のすぐ南側には中央本線の線路が並行して走っている。」 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 北側に急な崖が迫っており、限られた平坦地に道路と鉄道が並行して通っている場所                      2. 等高線の間隔が広く、大規模な住宅団地を造成するために森林が切り開かれた場所                      3. 大きな河川を渡るための長い橋が架かっており、線路と道路が立体交差している場所                      4. 周囲に果樹園が広がるなどらかな傾斜地で、駅前には商店街が形成されている場所
- 
- 問12 福井県南部の若狭湾で見られる、山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることで形成された複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。また、その地形の利点を踏まえて答えなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 三角州                      2. リアス海岸                      3. 砂州                      4. カルデラ